

番 号	4 3	区 分	町指定文化財
種 別	保存技術	保 持 者	田立和紙保存振興会
名 称	田立の和紙製造技術		
指定年月日	昭和51年12月22日		
所 在 地	南木曾町田立		

概 要

享保6年(1721)の「尾州御順見衆様御尋并御挨拶留書」に、すでに田立紙として出ているので、相当古くから製造されていたことが伺える。最も盛んであった大正時代には、百戸近い家が生産に従事していた。しかし近年になって、工場生産の障子紙が出まわり、和紙製造作業も厳冬期に行うつらい仕事なので、年々その数が減り、ついには2軒だけになってしまった。その後その2軒も老齢のため漉かなくなったが、昭和60年代に入って、和紙の家を拠点に保存会が立ち上げられ、今日では技術の伝承は元より、販売にも活路を見出だそうと、伝統工芸品としても活動が続けられている。

田立の和紙は、美濃紙の系統を引き、手作りの和紙をとおして射す明かりは、家の中にやわらかさを感じさせ、捨てがたい味がある。

